

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成28年9月1日(2016.9.1)

【公表番号】特表2015-528033(P2015-528033A)

【公表日】平成27年9月24日(2015.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2015-059

【出願番号】特願2015-521025(P2015-521025)

【国際特許分類】

C 08 L 101/02	(2006.01)
C 08 L 75/04	(2006.01)
C 08 K 5/10	(2006.01)
C 08 K 5/29	(2006.01)
C 08 K 5/057	(2006.01)
C 09 J 183/04	(2006.01)
C 09 J 11/06	(2006.01)
C 09 J 11/04	(2006.01)
C 09 J 175/04	(2006.01)
C 09 D 183/04	(2006.01)
C 09 D 7/12	(2006.01)
C 09 D 175/04	(2006.01)

【F I】

C 08 L 101/02
C 08 L 75/04
C 08 K 5/10
C 08 K 5/29
C 08 K 5/057
C 09 J 183/04
C 09 J 11/06
C 09 J 11/04
C 09 J 175/04
C 09 D 183/04
C 09 D 7/12
C 09 D 175/04

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月12日(2016.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

湿気硬化型組成物であつて、

- a) 少なくとも1つのシラン官能性ポリマーP、
- b) シラン官能性ポリマーを架橋する少なくとも1つの触媒及び
- c) 少なくとも65% (w/w) の少なくとも1つのフィラー

を含み、完全に硬化した状態でDIN 53505に準拠して求められるショアA硬度が60以上であり、硬化前に本明細書に記載の方法によつて求められる押出圧力が1000

N 以下であり、

シラン官能性ポリマーを架橋する前記触媒がオルガノチタネット若しくはアミジン、又はこれらの2つの組合せであり、かつ

硬化の際にメタノールを分離する構成成分を含有しない、

湿気硬化型組成物。

【請求項2】

前記シラン官能性ポリマーPが、

イソシアネート基に対して反応性の少なくとも1つの基を有するシランと、イソシアネート基を含有するポリウレタンポリマーとを反応させることによって得ることができるシラン官能性ポリウレタンポリマーP1、

イソシアナトシランISと、イソシアネートに対して反応性の官能性末端基を含有するポリマーとを反応させることによって得ることができるシラン官能性ポリウレタンポリマーP2、又は、

末端二重結合を有するポリマーのヒドロシリル化反応によって得ることができるシラン官能性ポリウレタンポリマーP3、

から選択されることを特徴とする、請求項1に記載の湿気硬化型組成物。

【請求項3】

前記シラン官能性ポリマーを架橋する有機スズ化合物を含有しないことを特徴とする、請求項1又は2に記載の湿気硬化型組成物。

【請求項4】

フタレート含有可塑剤を含有しないことを特徴とする、請求項1～3のいずれか一項に記載の湿気硬化型組成物。

【請求項5】

脂肪酸アルキルエステルを可塑剤として含有することを特徴とする、請求項1～4のいずれか一項に記載の湿気硬化型組成物。

【請求項6】

湿潤剤及び/又は分散剤を更に含有することを特徴とする、請求項1～5のいずれか一項に記載の湿気硬化型組成物。

【請求項7】

硬化後の密度が1.75kg/1以上であることを特徴とする、請求項1～6のいずれか一項に記載の湿気硬化型組成物。

【請求項8】

最大15% (w/w) のシラン官能性ポリマーP、

フィラーとして70% (w/w) ～80% (w/w) の炭酸カルシウム、

5% (w/w) ～20% (w/w) の少なくとも1つの可塑剤及び

前記シラン官能性ポリマーを架橋する少なくとも1つの触媒

を含み、完全に硬化した状態でDIN 53505に準拠して求められるショアA硬度が60以上あり、硬化前に本明細書に記載の方法によって求められる押出圧力が1000N以下である、請求項1に記載の湿気硬化型組成物。

【請求項9】

接着剤、シーリング材又はコーティングとしての請求項1～8のいずれか一項に記載の湿気硬化型組成物の使用。

【請求項10】

パーケット接着剤としての、請求項9に記載の使用。

【請求項11】

請求項1～8のいずれか一項に記載の組成物の水による硬化後に得ることができる硬化組成物。

【請求項12】

DIN 53505に準拠して求められるショアA硬度が60以上であることを特徴とする、請求項1～1に記載の硬化組成物。

【請求項 1 3】

D I N 5 3 4 7 9 に準拠して測定される密度が 1 . 7 5 k g / l 以上であることを特徴とする、請求項 1_1 又は 1_2 に記載の硬化組成物。

【請求項 1 4】

前記シラン官能性ポリマー P が、シラン官能性ポリウレタンポリマー P 1 である、請求項 8 に記載の湿気硬化型組成物。

【請求項 1 5】

前記可塑剤の少なくとも一種が、脂肪酸アルキルエステルである、請求項 8 又は 1_4 に記載の湿気硬化型組成物。